

【担当教員名】 渋谷直樹および学科全教員	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	96

【概要】

これまでに履修した専門基礎科目の知識を用いて、各種の言語障害の診断、治療指導計画の立案と実施について、実際の症例との関わりを通して学ぶことを目的とする。さらに、言語聴覚士と他部門との連携についても学習する。また、学内セミナーでは、症例の評価報告に必要な基礎知識についての演習を行い、学外実習後には症例報告を行う。

【学習目標】

- ・言語聴覚士と対象者および家族との関わりについて見学し、考察を深める。
- ・言語聴覚障害の評価・診断を行い、結果を報告できるようにする。
- ・診断に基づいた、治療・指導計画の立案について学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
		オリエンテーション 事前学習・演習	実習性としての心得・基礎知識 評価・診断・訓練計画作成と報告の仕方	
	学外実習	病院および施設での学外実習		学外・配属実習
	まとめ 事後学習・発表	病院や施設の特徴および症例についてのまとめ 症例報告		学内・セミナー

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	新編言語治療マニュアル 言語障害第2版	伊藤元信／笹沼澄子編 笹沼澄子編著	医歯薬出版 医歯薬出版	2002年 2001年
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、実習指導者からの評価
症例報告、学内教員の評価頭の総合評価

【履修上の留意点】

- ・3年前期までの単位取得状況によっては履修登録を受け付けない。
- ・実習日程、配属施設等は実習先と相談の上、後日決定する。